

玉川上水散策コース



☆上の地図をクリックすると拡大します(PDFファイル158KB)

所要時間:約1時間30分

交通:JR青梅線・西武拝島線拝島駅、西武拝島線西武立川駅

拝島駅を出発して、玉川上水沿いを松中橋まで歩くコースです。

<<玉川上水>>

江戸時代のはじめ、多摩川の水を飲料水として江戸市中に供給する目的で開削された上水路。羽村の取水口から四ツ谷大木戸(新宿区)に至る約43kmの水路開削は、幕府の命によって玉川兄弟が請負い、承応3年(1654)に完成、以後、今日にいたるまで江戸・東京の主要上水として機能している。拝島駅北口から松中橋まで、市域を流れること約3キロメートル、上水両岸は武蔵野のおもかげをとどめる雑木林となっていて、自然散策に最適。

1. 拝島分水取水口

拝島駅のすぐ北、平和橋の南詰東側にある。分水の開通は元文5年(1740)年、あるいは更に早いという説もある。分水はここから南方へ流れ、拝島宿に引かれ、生活・農業用水として利用されていた。水路は一部付け替えられているが現存する。

2. 都水道局拝島原水給水口

こはけ橋のやや上流にある。多摩川昭和用水堰でせきとめた水を、拝島第四小学校前の原水補給ポンプ所から約2kmのここまで押し上げ、上水に補助給水する給水口。昭和16年(1941)、東京への給水が従来の上水では不足しはじめたため、突貫工事で作られた。現在も機能しており、冬場はかなりの勢いで放流される。

3. こはけ橋から拝島上水橋へ

こはけ橋と拝島上水橋間約400メートルには、うっそうと古木がおい茂り、武蔵野の面影がよく

残っている。

4. 市立上水公園

玉川上水沿いに残る自然の雑木林を生かし、散策しやすいように園路を木道として整備した公園。新緑と紅葉が見事。

5. 宮沢橋

寛政3年(1791)の「上水記」に拝島橋(現拝島上水橋)とともに記されている古い橋。現在は使用されていない。江戸時代、立川市西砂地区に宮沢新田が開かれた。

6. 美堀橋付近

美堀橋は昭和60年(1985)に開通した新しい橋。橋の上から清流をながめると、両岸からせり出した梢のトンネルになっており、大変気持ちのよいところである。この橋を渡ると、昭島駅まで徒歩約20分。

7. 美堀橋から松中橋へ

美堀橋を過ぎしばらく行くと、それまで続いた両岸の林が切れ、広々とした野原に出る。上水はここから約300メートルほど暗渠になっている。この暗渠は第二次世界大戦中、上水の南側にあった飛行場滑走路を延長する計画により、ふたをした名残である。

8. 柴崎・砂川分水取水口

松中橋南詰西側に並んである。上流側の柴崎分水は元文2年(1737)に開通、隣の砂川分水は明暦3年(1657)に開通し明治初期に現在地に取り入口が移った。それぞれ砂川新田・柴崎村(ともに現立川市)の開発に貢献した。ここから西武立川駅まで徒歩約5分、昭島駅まで徒歩約30分。